

一条工務店が伸びています！ その要因は？

ここ数年、一条工務店の躍進に注目が集っています。戸建て住宅販売でトップを走る積水ハウスに迫る勢いです。私が一条工務店を知ったのは30年程前、当時先端技術として注目され始めたプレカット機械を見るため、日置地区木青会で宮川工機を見学に行った時、浜松で急速に伸びている住宅会社があると聴き、ついでに立寄ったのが初めてでした。

電気工事会社から住宅業界に参入され、その営業体制が注目されていました。楽器の塗装技術を活かした仕上げが評判で、玄関ドア等を見せてもらいました。その後、新聞や雑誌でプレカット工場をフィリピンに建設した事を知りました。

最近、いろんな講習会等で、一条工務店の住宅のすばらしさを聞くようになりました。「一条工務店に価格、設備で勝負しますか」と話される講師もあり、遅ればせながらその住宅性能について調べて見ました。

ZNHが言われる昨今、住宅に必要な性能は次の3つに集約されそうです。

- ① 家全体で冬は暖かく、夏は涼しくすごしながら、安い冷暖房費
- ② 住宅性能表示精度で定める耐震等級3を確保する
- ③ 適切な防蟻処理、通気計画によって耐久性を保つ

皆さんの周りで建てられる住宅は、どこまで対応できていますか？ 今までは、大手の住宅メーカーでも3項目を満足しているところは少なかったそうです。一条工務店は全てを満足し、「長期優良住宅」「次世代省エネ基準」「業界最高水準の断熱性(Q値0.98)」が標準仕様です。プラン作成から住宅部品の8~9割をフィリピンの自社工場で製造し、コストダウンを図っています(右下図参照)。更に10Kw以上の太陽光発電を設置し、その収益で設置費用や冷暖房費を賄う仕組みづくりをしています。また、③の防蟻処理については当社が取組んでいるHIGシステムを採用してメンテナンスを軽減しているそうです。

このような大手住宅メーカーに対し中小工務店は、どのようにして生き残りをかければよいのでしょうか？ ある講師は断熱機密性能の向上と「パッシブ」手法による「日射取得と日射遮蔽」がポイントになるといわれます。地域の気候風土の知見を活かし、近隣の状況に応じた設計案を提案することで勝負していくべきだと言われます。

【情報】

小角材(母屋・大引)の不足が続いています

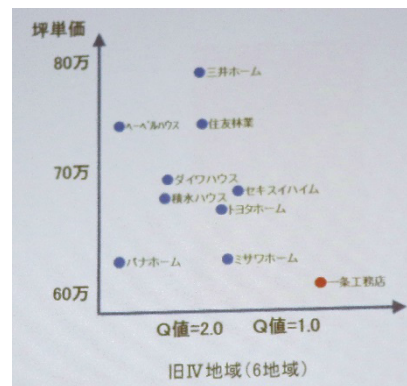
荷動きは悪いが、価格は動かない状況です。製材工場は輸出やバイオ発電による原木価格下支えにより採算は悪化。北九州災害による原木不足や特需により今後の動きは不透明です。

【定休日】

8月 は 5, 6, 13, 14, 15, 16, 20, 26, 27 日となります

9月 は 2, 3, 9, 10, 16, 17, 23, 24 日となります

宜しく申し上げます。



(住宅メーカーのQ値と坪単価)